

市民の命を守る救急活動

～1人でも多くの命を救うために～

もし家族が目の前で倒れたら——私たちは冷静に対処できるでしょうか。慣れない状況にパニックになってしまい、適切に行動できないかもしれません。救急隊は通報から平均9分で現場に駆けつけて、処置や搬送をしてくれますが、救急車が来るまでの間、私たちはどのように行動すればよいのでしょうか。

今回の女性版では消防本部に行き、救急隊の日頃の仕事や、救急車が到着するまでに私たちができる行動などを取材してきました。

【問い合わせ】

救急業務に関すること

…消防本部 459-2441 (代表)

女性版に関すること

…広報広聴課 483-1151 (代表)

救急隊の勤務体制

八千代市の救急隊員は40人。中央消防署・東消防署・八千代台分署・睦分署・勝田台分署の5か所に配属されています。

救急隊は24時間体制。職員は2つの班に分かれ、1日おきに当番勤務と非番を繰り返しており、4週間で8日の週休(休日)があります。

各消防署には救急車が1台ずつ(中央消防署のみ予備車を含め2台)配備されています。通報を受けると、現場に急行し、交通事故などによるけが人や急病人の応急手当を行い、医療機関に搬送します。

医師と連携して

救命処置を行う救急救命士

救急車には3人の隊員が乗車します。現場での応急手当は、高度な技術と的確な判断が必要となることもあるため、そのうちの1人は救急救命士の資格を持っています。

平成3年に救命率の向上を目的に「救急救命士」の資格がつくられ、救命処置を行えるようになりました。救急救命士は心肺停止時の電気ショックや薬剤の投与、点滴、気道確保や気管挿管などの「特定行為」を行うことができます。その場合には、八千代医療センターと連絡を取り、医師の指示を受け、処置を行います。

救急に関する疑問に答えていただきました

記者 火災が発生している訳でもないのに、時々救急車と消防車が一緒に出動しているのを見かけますが、なぜですか？

職員 それは、「PA連携」と呼ばれるものです。消防車(PUMPER)と、救急車(AMBULANCE)の両方が出動し、協力して活動します。心肺停止状態の場合や、事故や場所の状況により、救急隊員だけで運べない場合などに運用されます。

記者 本部の指令センターの設備の特徴は？

職員 通報を受けると、瞬時に通報地点の位置が地図画面に表示され、GPS機能により、現場に最も近い消防車や救急車が選定されます。また、火災通報時には、同時に高所監視カメラが作動して現場の映像を捉えます。この地図データは月に2～3回更新。いつでも最新の状態を保つようにしています。



高松記者

指令センターのハイテクな設備に驚きました。スマホからの通報でもGPS機能によって位置確認できるのはすごいですね。でも、最も大切なのは私たちが必要な情報を正確に伝えることだと学びました。24時間体制で頑張っている皆さんに感謝です。



夏戸記者

救急車が来るまでの間に私たちが出来る処置をしないと助かる人も助かりません。命を救うには「救命の連鎖」が大事。早い通報と、市民が行う応急手当、救急隊が行う救急救命処置、医療機関が行う医療処置をスムーズに連携していくことが大切だと学びました。



もしも家族が倒れてしまったら～通報と応急処置の方法～

①倒れている人がいたら、肩を叩きながら「どうしましたか、大丈夫ですか」と声を掛けて、反応があるかを確認します。



②大声で周囲に助けを求め、119番通報とAED(自動体外式除細動器)の手配を頼み、呼吸しているかどうかを確認します。

③脳に血液を送るため、両手で胸の真ん中部分を強く押す胸骨圧迫30回と、人工呼吸を2回行います。これを繰り返します。



通報はあわてず、ゆっくり、正確に

指令室：「119番八千代消防です。火事ですか？救急ですか？」

通報者：「救急です」

指令室：「住所はどこですか」

通報者：「〇〇町1丁目2番3号、〇〇です」

※携帯電話の場合は、住所や目標となるものを伝えましょう

指令室：「どうしましたか」

通報者：「父が階段を踏み外して頭を強打しました。意識がありません」

指令室：「あなたの名前を教えてください」

通報者：「△△△△です」

④AEDが届いたら、まず電源を入れます。あとは音声に従い行動します。指示があればショックボタンを押し、③を行います。その後、AEDの指示がなければ③を続けます。



2分短縮を目指します！

4月1日から救急隊を1隊増隊

現在市内の救急隊は5隊ですが、4月からは1隊増やし、原則常時6隊体制で救急活動が行われます。現在より現場到着所要時間を2分短縮し、7分台を目指すとのこと。最も出動要請の多い中央消防署で増隊されます。

市内76公共施設にAEDを設置
ホームページ
市HPと市民便利帳で公開中

八千代市 AED 検索



関口記者

AEDは音声ガイドに従って操作すればよいので、落ち着いてやれば私にも出来ると思いました。胸骨圧迫はかなりの重労働。すっかり息が切れてしまいました。いざという時に命を救うためにも、定期的な講習を受けることが大切だと思いました。